

科目名称：京都大学公開森林実習②-夏の北海道東部の人と自然の関わり-

単位数：1単位

担当教員：舘野 隆之輔他（京大フィールド研）

実施時期：平成28年8月5日（金）～8月8日（月）

集合時刻：平成28年8月5日（金）17:00

集合場所：JR釧網線 標茶駅

実施場所：京都大学フィールド科学教育研究センター
北海道研究林標茶区

北海道研究林：〒088-2339 北海道川上郡標茶町多和553番地

Tel.:015-485-2637 Fax.:015-485-4016、<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/hokkaido/>

E-mail: hokuenji@kais.kyoto-u.ac.jp

対象学生：他大学の全学部、主として2・3年次生対象。

定員：10名

実習課題：道東の森林や自然環境と人のつながりを学ぶ実習

実習内容：本実習では、北海道の森林・湿原の生態系や人と自然の関わりについて森林調査や森林作業などの野外体験を通して理解を深めることを目的として行っている。実習では、緯度や標高の傾度に対する植生の変化、林床の光環境と下層植生の関係、湿地や火山ガスなど特殊な環境傾度に対する植生の変化、間伐前後の光環境の変化など、特に植生と様々な環境条件との関係について学ぶ。森林調査（植生調査や光や土壌水分などの環境測定）、北方林での樹木実習、釧路湿原や川湯硫黄山の植生観察、センサーを使った間伐実習など様々な野外実習を行うとともに、取得したデータを活用して道東の自然環境と人のつながりについて考察を行う。

実習日程：

第1日：北海道研究林集合、ガイダンス

道東の自然環境に関する講義、樹木識別実習

第2日：天然林および人工林での森林調査

データのとりまとめとディスカッション

第3日：間伐実習および間伐前後の環境測定

データのとりまとめとディスカッション

第4日：摩周湖・硫黄山・釧路湿原の植生観察

夕方16:30頃解散

※解散後は、釧路駅・釧路空港まで送ります。

※解散後、北海道研究林に宿泊も出来ます。（翌朝8:40頃に標茶駅まで送ります）申し込み時に、後泊希望と連絡ください。

参加費用：7,500円程度（食費実費）

集合地（JR標茶駅）・解散地（JR釧路駅・釧路空港もしくは標茶駅）と居所間の交通費は別途自己負担。

提出書類：自大学の教務（学務）担当者と相談の上、下記の書類を提出すること。

下記、IとIIの受入身分の違いによって提出期限、提出書類と提出先が異なるので注意すること。

I. 農学部特別聴講学生となる場合（平成28年6月13日締切）

以下の書類を整えて、所属する学部の教務掛等から提出すること。

- ①学部長等の依頼書（別紙様式1）
- ②履修願（別紙様式2）
- ③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

提出先：京都大学農学部 学部教務掛

（封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書きすること。）

住所：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

TEL：075-753-6012 FAX：075-753-6005

Email：agri-kyoumu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

II. 農学部特別聴講学生とならない場合（平成28年7月20日まで受付け予定）

以下の書類を希望学生自身が提出すること。ただし、指導教員、クラス担任等の押印が必要。

- ①受講願（別紙様式3）
- ②学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

提出先：京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林標茶区

〒088-2339 北海道川上郡標茶町多和553番地

Tel:015-485-2637 Fax:015-485-4016

E-mail: hokuenji@kais.kyoto-u.ac.jp

詳しくは、実施計画書やHP（<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/blog/archives/20283>）を参照のこと。

保険について：学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。また、旅行保険に加入することを推奨する。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談すること。

キャンセル：定員があるため、受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に、直前になってキャンセルすることのないように日程等をよく検討してから申し込むこと。

科目名称：京都大学公開森林実習②-夏の北海道東部の人と自然の関わり-

Field Practices in Kyoto University Forest② -Relationship between humanity and nature in the eastern Hokkaido district-

単位数：1単位

対象学生：他大学の全学部、主として2・3年次生対象。

担当教員：館野 隆之輔（京大フィールド研）

授業概要：フィールド科学教育研究センターの北海道研究林標茶区（川上郡標茶町）を中心に、北海道の森林・湿原の生態系や人と自然の関わりについて森林調査や森林作業などの野外体験を通して理解を深める。

日 程：平成28年8月5日（金）～8月8日（月）

- 第1日：北海道研究林集合、ガイダンス
道東の自然環境に関する講義、樹木識別実習
- 第2日：天然林および人工林での森林調査
データのとりまとめとディスカッション
- 第3日：間伐実習および間伐前後の環境測定
データのとりまとめとディスカッション
- 第4日：摩周湖・硫黄山・釧路湿原の植生観察
夕方16：30頃解散

履修上の注意事項

この授業は、他大学の学生に開かれた公開実習である。そのため、京都大学の学生は履修することができない。他大学の履修希望者のうち、

I. 京都大学農学部特別聴講学生としての履修を希望する他大学生は、所属大学（農学部等）に京都大学公開森林実習を履修したい旨を申告し、所属大学から「依頼書（別紙様式1）」、「履修願（別紙様式2）」、「学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー」を平成28年6月13日までに京都大学農学部へ提出する必要がある。この場合、修了者には大学を通じて成績を報告する。

II. 特別聴講学生としての履修を希望しない他大学生は、平成28年7月20日までに、自ら「受講願（別紙様式3）」を提出する必要がある。この場合、修了者には「受講証明書（成績評価付）」を発行する。その書類を持って自大学で単位として認められることを希望する学生は、事前に自大学教務担当掛で確認すること。

詳しくは、実施計画書やHP（<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/blog/archives/20283>）を参照のこと。

評価方法：各課題の取り組みについての積極性、理解度、受講態度等を考慮して評価。

実施場所：京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林標茶区

定 員：10名

参加費用：7500円程度（現地と居所間の交通費は自己負担）

保 険：学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。また、旅行保険に加入することを推奨する。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談すること。

キャンセル：定員があるため、受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に、直前になってキャンセルすることのないように日程等をよく検討してから申し込むこと。